## 令和5年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和5年7月30日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 旭竜学区安全・安心ネットワーク 氏名 瀧本孝

令和5年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ:「災害に強いまちづくり~誰も取り残されないやさしい地域を目指して~」

	I
取組の名称	災害を見据えた繋がり作り 『乳幼児から高齢者まで取り残されない地域へ』
取組の概要 インターネット投票を行動・サイトにそのすりを表す。 すり 関及でいるよう との的ののよう アピール 記載してくる はいった きょう はいった さい。	<ul> <li>・10年前から旭竜学区全体で防災訓練を実施 (防火、洪水、地震対策避難訓練等)</li> <li>・高齢者サロンを定期開催、旭竜支え合い隊の活動</li> <li>・地域協働学校と旭竜小 4 年生(当時)が中心となり、地域住民を事故や事件から守るため「生活安全マップ」を作成</li> <li>・子育て支援の NPO 法人まんなか、全労済 COOP と協力し「子ども防災体験会」開催</li> <li>・旭竜学区連合町内会主催「旭竜子どもの居場所」広場にて、乳幼児家庭を対象とした防災講座を開催</li> <li>住民が防災についての学びをアップデートしながら、日頃からの付き合いを大切にし、いざという時に声を掛け合え、助け合える関係性を作る。居住年数の浅い家庭、外国人、障がい者、乳幼児から高齢者まで誰も取り残さないためのつながりづくり。</li> </ul>

東日本大震災を契機に始まった学区全体の防災訓練は、今年で10回目の 開催となった。今年のテーマは「洪水災害避難訓練」。247名の住民参加 があり、日常生活では他人事になりがちな、災害や避難行動を一年に一度 考えるきっかけになっている。

旧旭竜幼稚園での連合町内会主催の子どもの居場所は今年度3年目になる。地域の方も、自分にもできる事はないかと声をかけてくれるようになった。子ども達からは「今日は旭竜稚園で会うおじちゃんが園に来たよ!」という言葉を聞く。地域の方からも顔や名前を覚えてもらうことで、普段から声を掛け合える関係性ができており、災害時に役立つ。

しかし、若い世帯は地域行事に参加が少なく、地域住民として受け身になることが多いため、子供を中心に置く防災イベントを開催し、親世代の参加を促している。

居住年数が浅い子育で世代に地域の日頃からの取り組みがどのように行われているのかを知ってもらうため、新しい水害対策用のポンプを設置したことや、避難所の開設がどのような手順で行われるかなど、NPO 法人まんなかの SNS にて取り上げ、紹介している。

「このような取り組みがあったことを知らなかったので、これをきっかけに家族で防災について話をしてみたい」といった意見があった。

災害時に行政に頼りきりにならず、地域で助け合うためのネットワークと して学区連絡協議会も月に一度開かれており、常に、情報交換をしている ので、状況を共有できる。

## 成果・効果

取組を通じて得られた成果 や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。

## ●次の書類等を添付してください。

- ① [様式1] 協働による社会課題解決の取組の内容
- ②〔様式2〕取組実施団体概要書
- ③写真等取組イメージ画像の電子データ(1枚)

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順(事務局 受付順)に掲載します。

- ④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート(デジタルデータ) 1枚シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います(シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。)
- ⑤その他取組の説明資料: A 4で2ページ以内の資料を添付できます。
- ※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

## 〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

T- 40 - 5 - 7	
取組の名称	災害を見据えたつながる繋がり作り『乳幼児から高齢者まで取り残されない地域へ』 
テーマとの関連	<ul> <li>◎取組とテーマが合致している点を書いてください。</li> <li>■防災に力を入れ、平常時から、防災講座や避難訓練などを行なっている。また、協働団体と一緒に乳幼児親子向けや小学生向け体験会など防災講座を行いっている。</li> <li>■旧旭竜幼稚園での広場開催により、地域に顔見知りを増やし、世代を超えた共助の関係づくり。</li> <li>■普段から地域団体との協力体制があり、災害時の多世代に対して役割分担ができている</li> <li>■NPO法人まんなかと協働することにより、地域団体だけでなく、他地域の団体とも連携をとり情報収集、災害時のヘルプを外に発信できる状態を作っている。</li> <li>■まんなかの SNS や公式 LINE を利用し、災害時のハブとなり、情報発信、情報収集が可能。</li> </ul>
取組の目的・目標	<ul> <li>◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。</li> <li>■旭竜学区は高齢化率の高い地域である。1人暮らしの方の災害時安否確認のマニュアルなどを作成している。</li> <li>■乳幼児親子など子育て世帯に対しての対応はまんなかが担うこと、平常時から関わりを持つことでお互いが助け合う意識を持ち、より災害に強い地域になると考える。</li> <li>■地域行事に参加が少ない子育て世代の参加を促す。</li> <li>■地域顔見知りを増やすことで、防災、防犯に繋げる。</li> </ul>
取組の内容	●取組の内容について具体的に書いてください。  1 取組の対象: 対象地域、対象者、対象人数など 【対象地域】旭竜学区、周辺地域 【対象者】乳幼児親子~高齢者  2 活動内容、実施方法など ■【防災訓練】 旭竜学区全戸対象で年に1回、小学校で実施する。 ■【登下校の見守り】 毎日登校時、集団下校時などに小学生の見守りをしている。顔をおぼえてもらい防災に繋げる。 ■【旭竜子どもの居場所(R3年度、4年度、5年度)】旭竜学区連合町内会主催 【多世代交流 みんなの広場 まんなかノ地域えんがわプロジェクト(R4年度、5年度)】 NPO 法人まんなか主催 旧旭竜幼稚園にて子供を中心においた、無料で利用できる、広場を開催している。地域の方が手入れをしてくれている畑で、子供達が苗を植えたり収穫したりと、地域と子供達が自然に交流できる居場所といなっており、流しそうめん、昔遊びなど多世代が交流できるイベントを開催している。また、有識者を呼び乳幼児親子向けの防災講座や子供防災イベントを開催。 ■【旭竜子ども防災体験会(R4年度】】旭竜学区連合町内会主催 こくみん共済と協働で防災体験会を開催。高島公民館島こども会、八幡こども会、NPO法人まんなか、消防団が協働。 ■【お弁当配布】 地区社会福祉協議会が町内75歳以上の高齢者に対して、見守りや安否確認を兼ねて、年3回お弁当を配布している。高齢者との繋がりづくり。対象者約150人。  3 工夫した点や取組の特徴 ■各団体の得意を活かし、乳幼児から高齢者、外国人や障がい者まで、日頃からの繋がりを作る取り組みをしている。 ■旧幼稚園という地域の思い入れのある施設を交流拠点として活用している。 ■旧日幼稚園といら地域の思い入れのある施設を交流拠点として活用している。 ■旧日幼稚園といら地域の思い入れのある施設を交流拠点として活用している。 ■N日をWE B等で告知している場合はそのURLを書いてください。 ■NPO法人まんなか Instagram(也事子どもの居場所) https://www.instagram.com/mannaka.marumaru/ ■高島公民館 https://www.instagram.com/mannaka.marumaru/

取組の実施期間 今後の活動展開など	始期:平成 24 年 6 月~	<ul><li>☑ 継続予定</li><li>□ 令和 年 月終了</li><li>□ 令和 年 月頃終了予定</li><li>該当するものに☑し必要事項を記入してください。</li></ul>				
	<ul> <li>◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。</li> <li>一年に一度の防災訓練は引き続き学区全体で開催していく。子ども達にも楽しみながら防災ということを知るきっかけになるような仕掛けを工夫する。</li> <li>町内各団体がこれまでの取り組みを継続させ、住民同士のつながりを保つ。</li> <li>この地区は旭竜小学校が災害時の避難所となっているが、小学校まで行けない方の一時避難所として活用したいという声もある。また、避難所での生活が難しい子の家族や災害後の片付け中の乳幼児などの預かりの場として運用できるようにしたい。</li> </ul>					

	○抗無Ⅰ≠	ニレニとは接ばできたことが得られた効果を書いてください						
	│◎恊働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 │地域での顔見知りが増え、旧幼稚園での取り組み以外でも、挨拶や会話をするようになった。子供							
	地域での顔見知りが増え、旧効権圏での取り組み以外でも、疾移や云語をするようになった。于供   達も地域の人の顔を覚え、声かけをしている。							
↓カ Æ↓ / ー し フ		ず避難所に行ったとしても、誰も顔見知りがいない空間で過ごすことは困難が伴う。日						
協働による 効 果	常的な住民	同士のつながりは、命が助かった後の、日常生活が取り戻せるまでの時間のストレスを						
<b>刈</b> 未	軽減できる	0						
	団体名	学区連合町内会						
	団体種別	□住民自治組織 ☑市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ( )						
	役 割	   回覧板、チラシ配布などの広報活動、行政との連絡						
	団体名	学区社会福祉協議会						
	凶 14 石   団体種別	子匚社云恒征励議云   □住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ( )						
	凹体性別   役 割							
	団体名	学区体育協会						
	団体種別	プログラ						
	役 割	旭竜サマーフェスタ、学区体育大会						
	団体名	学区民生委員・児童委員協議会						
協働団体と	団体種別	□住民自治組織 ☑市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他( )						
その役割	役割	子どもの居場所見守り、要救護者の調査・把握						
※協働団体が他分	団体名	高島公民館						
野にわたっている								
ことや、各団体の 関わりの深さも評	団体種別	□住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 ┛行政 □その他(  )						
関わりの深さも評 価の対象となりま	役割	企画広報、イベント機材貸し出し等						
す。	団体名	旭竜小学校						
※足りない場合は 欄を追加してくだ さい。	団体種別	□住民自治組織 □市民活動団体 □企業 ■教育機関 □行政 □その他( )						
	役 割	広報など						
	団体名	岡山市消防団宇野分団						
	団体種別	■ 住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ( )						
	役 割	訓練やイベントでの防火指導						
	団体名	こくみん共済岡山 全労済						
	団体種別	□住民自治組織 □市民活動団体 ♀ □ 企業 □教育機関 □行政 □その他 ( )						
	役 割	子供向け防災イベントの開催						
	団体名	川辺復興プロジェクト あるく						
	団体種別	□住民自治組織 ☑ 市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ( )						
	2	乳幼児親子向けの防災講座、地域住民向け講座開催						

	団体	名	NPO 法人まんなか	`						
	団体	種別	口住民自治組織	<b>▽</b> 市民活動団体	口企業	□教育機関	口行政	口その他	(	)
	役	割	SNS 広報、企画イ	′ベント運営						
	団体	名								
	団体	種別	口住民自治組織	□市民活動団体	□企業	□教育機関	口行政	口その他	(	)
	役	割								